

令和3年度 栗野中学校グランドデザイン

令和3年4月

学校教育目標

ふるさとを愛し、豊かな心を持ち、自ら考動できる生徒を育てる

キーワード

「小中連携」と「ボランティア活動」

【スローガン】

「心のこもったあいさつが溢れる学校」「校歌を高らかに歌う学校」

【校内研修の研究テーマ】

一人一人の人間性を豊かに伸ばす指導法改善の在り方
～S.O.S.をもとにした道徳的実践力の育成を中心に～

【生徒会の目標：ボランティア活動のさらなる実践】

- 1 自発的・自治的な活動を促進し、学校生活や改善・向上を図る。
- 2 所属感や連帯感を深め、協力しながら規律ある学校生活を築く。
- 3 地域や他校との交流を通して、自主的・実践的な態度や社会性を身に付ける。

めざす教師の姿

- (1) 生徒の主体性を育て、ともに歩む教師(師弟同行・率先垂範)
- (2) 研修に努め、創意ある教育実践を通して日々前進する教師
- (3) 目標に向かって、協働する教師
- (4) 教育公務員として誇り使命感に燃えて、責任を果たす教師
- (5) 良識と品位があり、生徒・保護者・地域に信頼される教師

めざす生徒の姿

- (1) 明るく、心のこもった元気なあいさつのできる生徒
- (2) 自分を見つめ、将来の目標に向かって努力する生徒
- (3) きまりを守り、よく考えて行動する生徒
- (4) 思いやりがあり、協調・奉仕する生徒
- (5) 気づき、考え、実行する態度を身に付けようとする生徒
- (6) 自他の心身の健康意識、危険予知能力等を身に付け日々実践する生徒

向上

3年生

S.O.S.

2年生

S.O.S.

1年生

S.O.S.

部活

夢実現に向けて

指導5則

- 1 明確なめあての提示
- 2 指導方法の工夫(ペア・グループ学習)
- 3 思考に沿った学習過程と発問の工夫
- 4 ICTの活用と可視化された板書の工夫
- 5 定着を図る「学習の振り返り時間」の確保

めざす学校の姿

- 1 「豊かな人間性」を育成するために生命尊重や人権尊重の精神を育成する学校
- 2 「生きる力」を支える「確かな学力」の定着に努める学校
- 3 「健やかな体」の育成のために行動体力や防衛体力の伸長や食育に取り組む学校
- 4 「開かれた学校」として地域の人々に親しまれ、信頼に応える学校

授業の受け方5か条

- 1 始めようチャイムの合図
- 2 あいさつしよう心を込めて
- 3 正しくしよう服装や姿勢
- 4 集中しよう先生や友達の説明
- 5 工夫しよう見やすいノート

学校の取り組むべき課題

- 1 人権同和教育を全ての教育活動の基本に置いた仲間づくりの推進(「学校楽しいーと」「アンケートの実施・分析」の活用)
- 2 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の推進(生徒の実態に即した指導法改善、家庭学習の工夫・改善)
- 3 道徳教育の充実、体験活動等を通じた豊かな感性の醸成(教科道徳としての完全実施と評価のあり方の工夫改善)
- 4 積極的な生徒指導の充実(生徒会活動の活性化を図る。「揃える教育」：時間・あいさつ・靴やシューズ・雑巾・鞆等)
- 5 特別支援教育における合理的配慮と(ユニバーサルデザイン)の視点を取り入れた授業づくりの研究
- 6 心身の健康の保持・増進を図るとともに、主体的に健康・安全な生活を送る実践力を育てる研究の深化
- 7 キャリア教育の計画的な実施(望ましい勤労観・職業観の育成と適切な進路情報の収集・提供)
- 8 総合的な学習の時間等の研究を行い、より一層の深化を図りながら、自尊感情や自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進
- 9 家庭・地域社会とのさらなる連携強化(PTA活動の実践力を高める。地域行事へのボランティア活動の推進を図る。)

地域・保護者の願い

教育行政の基本構想

湧水町教育委員会

- 1 「明・温・厳」の教育の推進
- 2 「コミュニケーション能力」「自立する力」・「郷土愛」を育てる

公教育の理念

県・始良・伊佐地区

日本国憲法 教育基本法
学校教育法 学習指導要領

S.O.S.

1学期

S.O.S.

2学期

S.O.S.

3学期

耕常